

多様な利用者への情報サービス支援
専門図書館・男女共同画センター
の視点

独立行政法人国立女性教育会館
情報課客員研究員
青木玲子

「すべての利用者」とは

日本図書館利用教育委員会

「図書館利用教育ガイドライン」

利用教育とは…

「すべての利用者が自立して図書館を含む情報環境を効果的・効率的に活用できるようにするために、体系的・組織的に行われる教育」

すべての利用者とは…

- すでに図書館を使っている利用者
- 図書館を使ったことのない利用者
- これから使う利用者

ガイドラインは、 公共・専門・学校・大学図書館

「館種を越えた利用者」という提案

多様な利用者への視点

1 男女共同参画センターライブラリー

困難な課題を持った利用者への取り組み

2 独立行政法人国立女性教育会館

NWEC図書パッケージ貸出サービス

3 公共図書館・生涯学習センター

The Idea Store の「図書館に来ない利用者」への取り組み

4 レファレンス演習「パスファインダー作成」

男女共同参画センターライブラリー 全国に278施設

- 男女共同参画センター(NWEC 女性関連施設DB 389施設 <http://winet.nwec.jp/sisetu/>)

多様な利用者への取り組み

- 困難な課題を抱えた市民
- 経済的に困難な市民
- ジェンダー課題を抱えている市民
- 危機的な課題(災害)を抱えた市民

和田佳代子、青木玲子「市民への情報リテラシー講座の運営について-医療情報発信とリテラシーの必要性」『情報リテラシー教育の実践-すべての図書館で利用教育』日本図書館協会図書館利用教育委員会,2010.(こころとからだの文庫,埼玉県男女共同参画センター)

国立女性教育会館 女性教育情報センター

参考資料

「NWEC図書パッケージ貸出サービス1年半の実践報告
～男女共同参画の情報と知識のサービス拠点を、
若い世代に～」市村櫻子『NWEC実践研究』第2号 2012.3

情報センターサービスの基盤

1 図書貸出(2010年から)

2 レファレンスサービス

3 女性情報ポータルWinetによる専門情報の提供

4 ILL(Inter Library Loan)

非来館者型サービスから

潜在的な利用者のニーズに応えるサービスの拡大



"Winet"(Women's information network)は、女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目指した情報の総合窓口です。

情報の探し方

横断検索

女性情報ナビ

国立女性教育会館HPへ

English

Winetまるごと検索

OK

本や雑誌を探す



雑誌記事・
新聞記事を探す



女性関連施設を探す



統計データを探す



専門家情報を探す



男女共同参画知恵袋



さらに探す

Search

New arrival | 新着案内

新聞記事

和雑誌記事

本

地方行政資料

Web

統計

< 1 2 3 >

»もっと見る

- 患者を生きる 1822：被災の地から：津波このまれて 下：家族が支え仕事に復帰 / 熊井洋美
- 100日裁判首都圏の連続不審死事件：香山リカさんに聞く：「女の本音」が裁かれる / 島康彦
- 震災遺児母子家庭の生活厳しく
- 働く女性学びたいのは「英語」がトップ
- 大変さ・喜び知ってほしい：男性にも「胎動」妊婦体験システム「マミータミー」 / 竹岡伸晃

Pickup contents

ピックアップコンテンツ

- ▶ このサイトについて
- ▶ 女性教育情報センター
＊パッケージ貸出サービス
- ▶ 国立大学における男女共同参画状況データベース **new**
- ▶ 女性情報レファレンス事例集
- ▶ SUCRA(埼玉県地域共同リポジトリ)
- ▶ 女性デジタルアーカイブシステム
- ▶ 海外女性情報専門データベース
- ▶ 女性教育情報センター・テーマ展示

Topics | トピックス

- 2012.3.8 女性情報ポータル "Winet"英語版 を公開しました **new**
- 2012.3.2 三重県男女共同参画センターHP「男女共同参画ゼミ」でNWEC執筆による「男女共同参画統計について」が始まりました **new**
- 2012.2.24 「NWEC男女共同参画統計ニュースレター」No.8 を刊行しました **new**
- 2012.2.9 平成23年度女性情報アーキビスト養成研修(入門)実施報告を掲載しました **new**
- 2012.1.26 平成23年度女性情報アーキビスト養成研修(入門)のテキストを掲載しました
- 2012.1.5 女性教育情報センター1~3月のテーマ展示は「男性ことでの男女共同参画」です

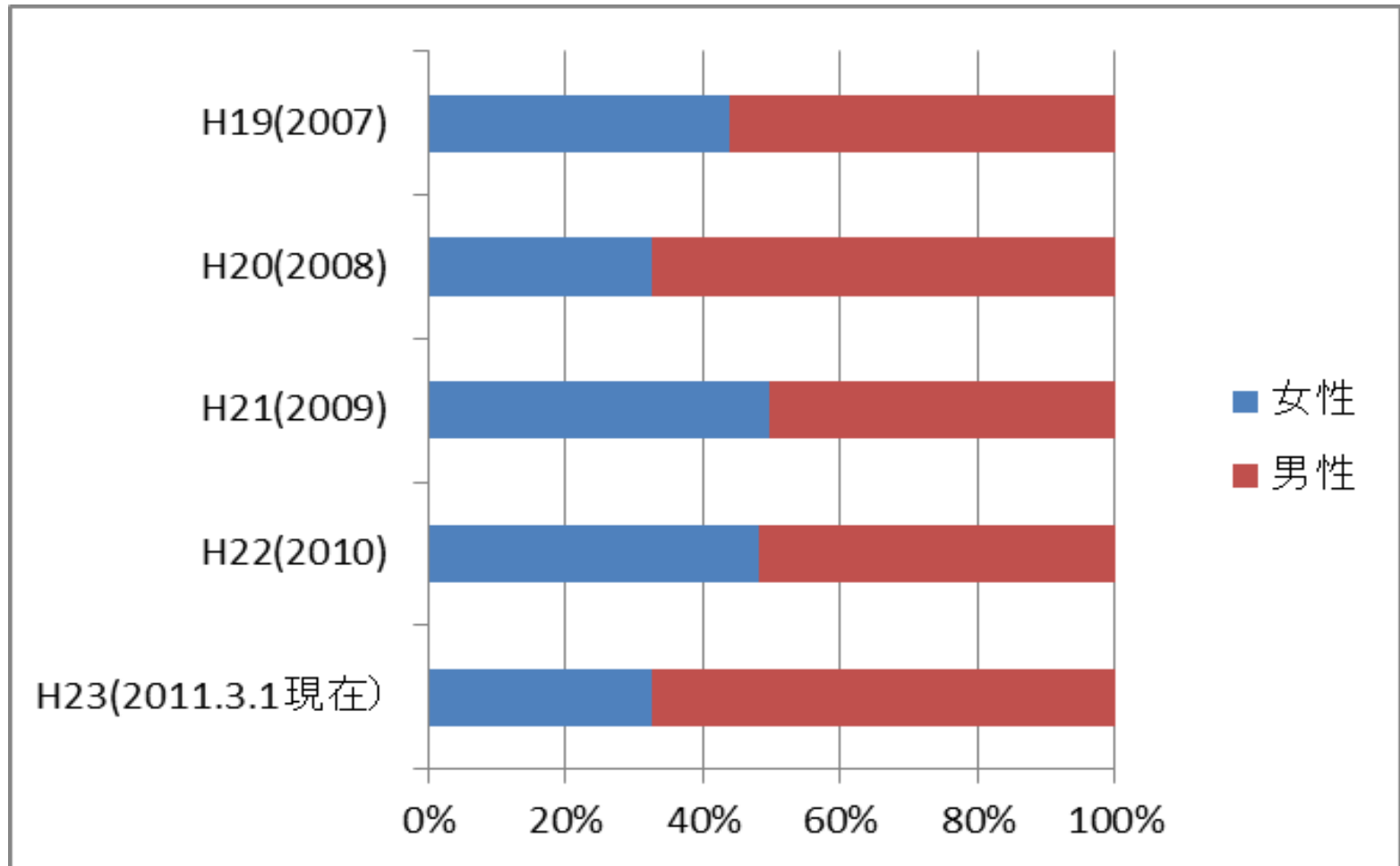
NWEC情報センター所蔵資料構成

男女共同参画社会の形成を目指した 女性・家庭・家族に関する専門図書館

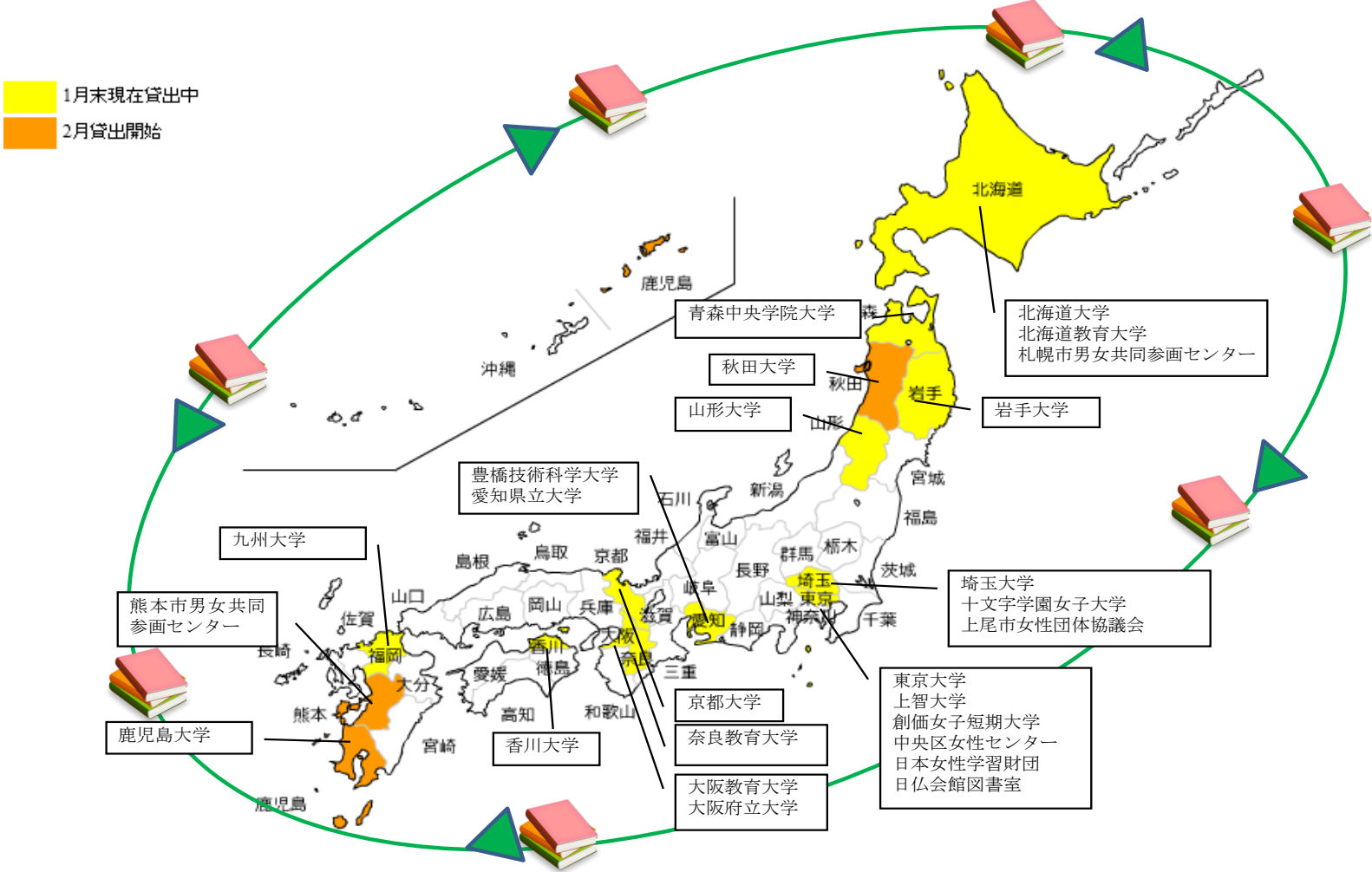
NWEC 情報センター所蔵資料数 (平成 23 年 3 月末現在)

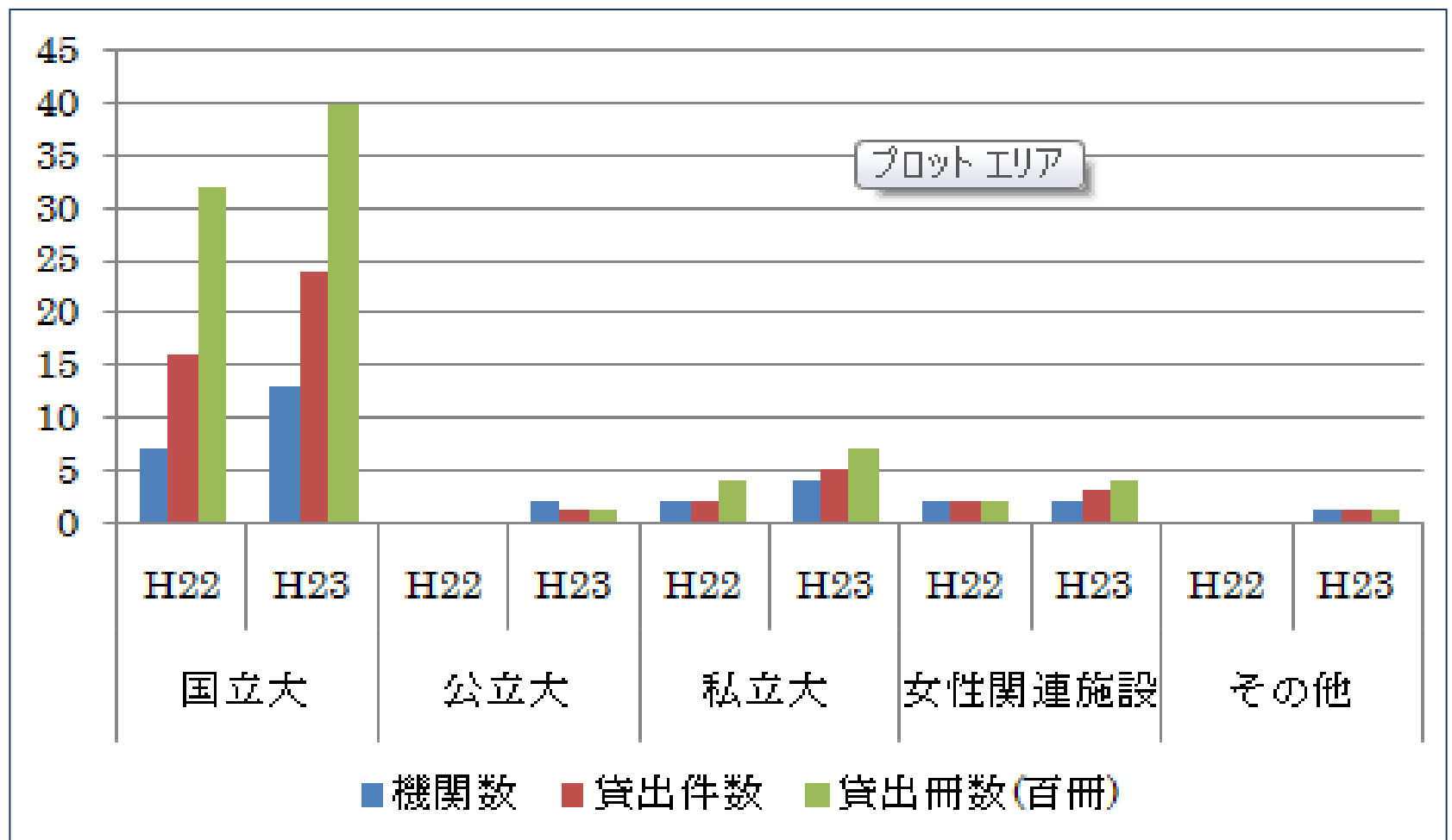
項目		和	洋	計
図書資料	図書 (冊)	71,444	21,820	93,264
	地方行政資料 (冊)	25,069	8	25,077
	計 (冊)	96,513	21,828	118,341
逐次刊行物	雑誌 (誌)	3,138	719 (60 か国)	3, 857
	新聞 (紙)	74	1	75
その他	新聞切り抜き (件)	303,610	—	303,610
	A V資料 (種)	145	4	149
	研修貸出用資料 (種)	15	0	15

NWECの情報センター利用者



NWEC図書パッケージ貸出サービス利用機関(地域別)





図書パッケージの主題

A 生活をサポートする

- 「異性関係」「コミュニケーション」「食」「男女共同参画」
- 「生き方」「しごと」「セクシュアリティ」「男性学」「人間関係」
- 「格差」「家族関係」「からだ」「国際協力」「スポーツ」「メディア」
- 「異性関係」「自己実現」「ライフスタイル」「男女共同参画」
- 「アイデンティティ」「キャリア」「政治」「文学」「メディア」
- 「生き方」「コミュニケーション」「セクシュアリティ」「大学」
- 「男女共同参画」
- 「アート」「こころ」「国際比較」「持続可能な社会」「人権」
- 「家族」「キャリア」「恋愛」「海外生活」「世代論」「ファッション」
- 「災害」「ボランティア」「メンタル・ヘルス」

図書パッケージの主題

B 教員を目指すためのパッケージ

- 「家庭と学校」「児童福祉」「人権教育」「多文化」「男女共同参画」「児童福祉」「児童虐待」「セクシュアリティ」「セクハラ」「男女共同参画」

C-1 論文作成をサポートするためのパッケージ

- 「子育て支援」「夫婦別姓」「スポーツと女性」「女性のキャリア形成」

図書パッケージパッケージの主題

C-2大学の女性研究者を支援する

- 「生き方」「科学と社会」「キャリア」「セクシュアリティ」「大学」

C-3女性関連施設の事業と連携する

- 「女性のための再就労支援講座」との連携など

D 企業ライブラリー

E・F・・・・・・・・

パッケージサービスの実績から 多様な利用者のニーズ

連携図書館・機関 から多様な利用者へのアクセス

1 若い世代(大学生・短大生・専門学校)

男子学生へのアプローチ

2 多様な学部(工学系・理科系学部へのアプローチ)

▲ 東京大学駒場図書館 **GENKI BOOKS**

“**G**ender **E**quality : **N**o-nonsense **K**nowledge and **I**nformation”
頭文字を取って、“**GENKI BOOKS**” と名付けられました。

<http://lib.c.u-tokyo.ac.jp/>

パッケージサービスの実績から 学部の授業等との連携

- 1 大学の授業や公開講座、ワークショップとの
連携・支援
- 2 NWEC職員による男女共同参画についての
国際的・国内的動向についての講義
- 3 NWEC情報課職員による情報リテラシー・情
報検索の講義
「専門情報を使う」、「男女共同参画統計を学ぶ～
女性と男性に関する統計データベースを使う～」

情報リテラシーに 男女共同参画の視点

1 大学

学生への男女共同参画に関する学習支援、
女性研究者への情報提供、
教職員への男女共同参画に関する情報提供、

2 女性関連施設

講座等事業関連資料の提供、
利用者への男女共同参画に関する学習支援

3 地域連携ネットワーク

パッケージサービス 今後の展開と課題

1 利用状況の把握

男女、年代、所属などのデータ分析
資料利用度の客観的把握

2 施設連携による貸出場所の設置・効率的な 配送システム

3 地域連携による情報サービス

4 パッケージ貸出のための資料収集と構築

図書館と利用者

- すでに図書館を使っている利用者
- 図書館を使ったことのない(利用者)
- これから使う(利用者)

IDEA STORE in LONDON



多様な利用者へのアクセス in London

図書館を使ったことのない(利用者)

Can Do Society

- 1 Tower Hamlets 地域
- 2 1999年4月 Idea Store Concept
- 3 「A Library and Lifelong Development Strategy to Tower Hamlets 2002」
- 4 地域ニーズへの対応:利用者インタビュー
- 5 移民の多い地域(利用率20% →56.6%)
- 6 2002年5月から Idea Store が地域拠点
- 7 <http://www.ideastore.co.uk/>

多様な利用者にアクセス(参考)

- 1 特別なニーズを持ったこども
- 2 視聴覚障がいのある人
- 3 患者・家族
- 4 矯正施設の入所している人
- 5 在日外国人
- 6 心に病いを持つ人

小林 卓、野口武悟『図書館サービスの可能性- 利用に障害のある人々へのサービス』
日外アソシエーツ, 2012